

2025 年 10 月吉日

- 回答旗

④スタートの延期
スタート延期の場合、延期信号として回答旗を掲揚、音響信号 1 声を発する。
そののち回答旗降下、音響信号 1 声を発した 1 分後にスタート 5 分前（6. ③を参照）とする。

⑤スタートラインの消滅：

スタートラインはスタート１０分後に消滅する。

7. リコール

①リコール：音響信号１声と共にX旗を掲揚する。

X旗は全てのリコール艇がリコールを解消した時点で降下する。

※但しこれに関わらず、スタート１０分後には降下する。

②ゼネラルリコール：音響信号２声と共に第１代表旗を掲揚する。

新しいスタートは第１代表旗降下、音響信号１声を発した１分後に緑色旗を掲揚し、再スタート５分前とする（以降、上記６．③と同様）

③フィニッシュした艇に対し、本部船より各々音響信号１声を発する。もしこの１声がない場合はリコール艇であり、そのリコールを解消しないままレースを続行、フィニッシュラインを通過したもので失格となる。



第一代表旗



8. フィニッシュ

①フィニッシュラインは海上の本部船が掲げる「白地に赤色ロゴのYAMAHA旗」とリミットマークブイ（L）を結ぶ線とする。

YAMAHA

④フィニッシュ本部船には青色旗を掲揚する。

青色旗



※フィニッシュは両クラス共、流し込みとする（廻り込みではない）。

9. レースの中止

スタート信号後でもコミッティー（本部船）は下記のいずれかの理由によりレースを中止（ノーレース）することがある。その際は音響信号３声と共にN旗を掲揚。



A) 悪天候（大幅な風向の変化を含む）

B) どの艇もタイムリミット内にフィニッシュで出来そうもない不十分な風。

C) 競技の安全、または公正に直接影響するその他の理由。

10. コースの短縮

天候上、時間内に多くのレース艇がフィニッシュ出来そうもないとコミッティー（本部船）が判断した場合、コースの短縮を行う。

①コース短縮の場合は本部船とマークボートより音響信号２声と短縮の該当するクラス別信号旗を掲揚する。

S旗



A: コンペティションクラス

信号旗：S旗

B: ハピネスクラス

信号旗：第２数字旗

第２数字旗



②トップ艇がこれより回航しようとしているマークブイと本部船、またはマークボートを結ぶ線を短縮後のフィニッシュラインとする。本部船、又はマークボートを左に見て、マークブイを右に見て通過。フィニッシュラインになる本部船、またはマークボートには青色旗、およびクラス別信号旗を掲揚する。

青色旗



11. タイムリミット

12：30とする ※両クラスとも同時刻

12. レース艇の義務

①出艇申し、スタートしていない艇は速やかにその旨を海上の本部船に報告する。

②〔リタイア〕リタイアした艇は速やかに海上の本部船に報告する。TEL 080-3558-4313 石上 迄

③〔事故報告〕レース中に事故があった艇は、レース後速やかにコミッティーに文書にて報告する。

④フィニッシュしたレース艇は速やかにフィニッシュライン付近より離脱し、ジブセールを降下させる事。

13. 規則違反&救済

①レース中にJ S A F競技規則第２章の規則に違反したかもしれない艇は、ケースの後、可及的速やかに他の艇から十分離れた後、速やかに２回のタックと２回のジャイブを含む同一方向への２回転を行うことにより「２回転ペナルティー」を履行したこととする。

②レース中にマークと接触（規則３１．１に違反）した艇は、可及的速やかに他の艇から十分離れた後に、速やかに１回のタックと１回のジャイブを含む１回転を行うことにより

「ペナルティー」を履行した事とする。マークの廻り直しではない。

④ その他、レース規則に違反した艇は失格または30%以上のタイムペナルティーを課すことがある。

14. その他

- ①本部船は海上で「白地に赤色ロゴのYAMAHA」を掲揚している。
- ⑤ マークボートは海上で「赤地に白色ロゴのYAMAHA旗」を掲揚している。
- ③レースの終了は本部船のヤマハ旗を降下した時点となる。

YAMAHA

YAMAHA

15. リスク・ステートメント

レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。

レースに参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

主催団体は、レースの前後、レース中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

レース委員長 真鍋 仁（ヤマハマリーナ沼津オーナーズクラブヨット部部会長）

レース委員 石上 岡本 竹島 八木

※本部船連絡先：石上 TEL 080-3558-4313

※陸上本部連絡先：事務局 ヤマハマリーナ沼津 TEL 055-939-0311

参考（画像）

本部船（船名：Marian）



マークボート（船名：オメガ またはLIP）



M1、M2マークブイ



リミットマークブイ



乗船登録名簿

フリガナ	
船名	
セール NO.	

スキッパー氏名		性別	年齢
1		男性 ・ 女性	歳

クルー氏名		性別	大人 お子様【小学生まで】
2		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
3		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
4		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
5		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
6		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
7		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
8		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
9		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
10		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
11		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様
12		男性 ・ 女性	大人 ・ お子様

個人情報の取り扱いについて以下の範囲内で利用させていただきます。

- 1) 利用目的 ヨットレース案内
- 2) 利用範囲 ヤマハマリーナ(株) 沼津営業所賜り部署に限ります。
- 3) 利用の期間 当用紙は 2 ヶ年迄保管します。経過後廃却致します。

取扱い責任部署 ヤマハマリーナ(株) 沼津営業所
 静岡県沼津市江浦 514 TEL055-939-0311 FX055-939-1413

写真の取り扱いにつきましても HP・ブログ・イベント案内・報告書など以外への使用はいたしません。